

科目名	統合ヘルスケア (Integrated Health Care)			科目コード	S111
単位数	1 単位	選択区分	必修	時間数	30時間
区分	助産学実践領域	履修時期	前期	関連DP	助③④⑥
担当教員	井上 明子、伊藤 美香、今村 朋子、野上 みき*、谷村 依里*、藤田 玲子*、小川 時江*、				
授業概要	女性の健康支援やマタニティーサイクルの助産ケアにおいて、対象が持つ自然の力を引き出す関わりの意義を概説し、その手段として、代替療法(補完医療)や日常生活における運動や癒し、食生活など様々な側面から心身を整える取り組みに関する理論や有効性、ケアの実際について教授する。				
授業目標	1 西洋医学と代替療法(補完医療)を統合した、ヘルスケアの考え方について説明できる。 2 女性や母子がセルフケアによって健康レベルを高めるための具体的方法について、自分の体で感じた「気づき」をもとに助産援助への活用のありかたを考察することができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	統合ヘルスケアと助産師	統合ヘルスケアとは 女性の健康・母子の健康とセルフケア	井上明子
2	運動によるからだづくり (1)	マタニティーヨガ	野上みき
3	運動によるからだづくり (2)	骨盤ケア	井上明子
4	代替療法を助産に活用する (1)	東洋医学 理論編	谷村依里
5			
6			
7			
8	代替療法を助産に活用する (2)	アロマセラピー	藤田玲子
9	食生活を整える	母子の栄養 理論編	小川時江
10			
11			
12			
13			
14	親子のきずなづくりを支援する	パワーオブタッチ、ベビーマッサージ	藤田玲子
15	統合ヘルスケアの臨床への応用	助産師としての統合ヘルスケアの活用	井上明子 今村朋子
成績評価方法	各実践レポート(60%)、調理実習 (20%)、まとめレポート(10%)、便秘に関するスタンダードプランの作成 (10%) によって評価する。		
教科書	我部山キヨ子・武谷雄二「助産学講座3 母子の健康科学」(医学書院)		
参考図書等	特になし		
授業時間外の学習について	各実践演習のレポートや献立の立案については時間外学習が必要となる。		
関連科目	106-109 助産診断技術学 I～IV ⇒ 本科目 ⇒ 117-119 助産学実習 I- III		
備考			